

平成30年度青森市指定管理者選定評価委員会（実地調査）会議概要

- 1 日 時 平成31年2月14日（木） 14：40～
- 2 場 所 青森市油川市民センター
- 3 対象施設 青森市油川市民センター
- 4 出席者
 - (1) 青森市指定管理者選定評価委員会
委員長 横内 修（企画部理事次長事務取扱）
委員 森 宏之（青森大学教授）
委員 西村 晴夫（東北税理士会青森支部税理士）
委員 加福 理美子（市民部次長兼行政情報センター所長）
委員 永澤 治（農林水産部次長）
 - (2) 指定管理者（元気町あぶらかわ市民センター運営協議会）
副会長 葛西 清光
業務員 小川 元視
業務員 齊藤 瑠美子
 - (3) 施設所管課
教育委員会事務局中央市民センター 館長 渡邊 薫
主幹 千葉 皆工
主査 蒔苗 弘嗣
 - (4) 制度所管課
企画部企画調整課 課長 舘山 公
主幹 高野 新
主査 小笠原 誉史
- 5 案 件 青森市指定管理者選定評価委員会による実地調査
- 6 会議概要 委員長及び出席委員が指定管理者及び施設所管課に対してヒアリング及び実地調査を行い、施設の管理運営状況について評価を行った。

■施設所管課によるモニタリング等の評価結果について

(委員)

所管課のモニタリング評価において、「必要な事項は随時、市に確認、相談しながら、引き続き施設の良好な管理運営に努めてほしい」とあるが、指定管理者と定期的な打合せの場を設けているか。

(施設所管課)

中央市民センターでは、全センターとの情報共有や意見交換のため、年4回の館長会議を開催しているほか、中央市民センター館長等による年3回の施設訪問、生涯学習推進委員による事業に関する打合せや相談、担当職員による訪問などを実施している。

■協定書、仕様書、事業計画書及び事業報告書について

(委員)

職員の研修について、内部研修は随時実施しているということだが、外部研修については年間の計画を立てているか。

(指定管理者)

昨年4月からの新体制であるため、まずは通常業務をしっかりとやるということで、内部研修に比べ、外部研修の受講が少ない状況にある。来年度からは計画を立てて実施していきたい。

(委員)

意見箱を設置しているが、これまで管理運営に取り入れたものはあるか。

(指定管理者)

照明が暗いという意見をいただき、節電を行っている中ではあるが、利用者に伺いながら支障がないようにやっている。

(委員)

事業計画書について、58回の講座は1月までで終了となるのか。

(指定管理者)

はい。

(委員)

4月と2月、3月に講座の予定はないのか。

(施設所管課)

翌年度の事業計画の提出が3月下旬となり、4月に広報誌に載せて募集することから、全センターに言えることだが、4月は少なくなっている。また、2月、3月に関しては除雪で駐車スペースが減り、車を止められなくなる事情もあり、どの市民センターも全くないというわけではないが、少なくなっている。

(委員)

市民向け講座の参加者数はどのような傾向になっているか。

(施設所管課)

昨年度までは市直営で管理運営していたが、指定管理者へ移行する際に、市で講座の開催回数を見直したこともあり、講座への参加者数に関しては少なくなっている。

(委員)

指定管理者が現金を扱うことがあるか。また、保管状況はどうなっているのか、帳簿はあるのか。

(指定管理者)

貸館で有料となる場合があり、トレーニングルームでも料金を徴収している。

また、現金は、金庫に保管し、次の日の朝に行政コーナーを通して市に納めており、帳簿はある。

(委員)

市民の平等利用について、多数の応募があった場合は、それぞれ抽選を実施するようだが、どのようなやり方で実施しているのか。

(指定管理者)

3ヶ月前から予約可能になっているが、2つ以上の団体の予約が重なった場合、それぞれの団体に連絡を取り、抽選を行っている。